

## アドミッション・ポリシー

### ●求める人物像

本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 幅広い知識を有し、医学的専門知識と技術の習得に意欲を持つ人。
2. 他分野の専門知識を、医学・医療関連分野に応用・活用することを志す人。
3. 研究者として研究成果を世界に向けて発信できるよう、国際的視野を有する人。

### ●入学者選抜の基本方針

学力検査（英語）で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，学力検査（小論文）で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価し，面接で「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価し，成績証明書で「知識・技能」を評価し，出願書類を面接の参考資料として「知識・技能」を評価します。

### ●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
修士課程	学力検査(英語)	○	○	
	学力検査(小論文)	○	○	○
	面接		○	○
	成績証明書	○		
	出願書類(面接の参考資料)	○		

## 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

医科学専攻では、医学・医療関連分野における領域横断的な諸問題の解決に有用な幅広い学問的背景を持った人材を養成することを目的として教育課程を編成する。

基礎科目には、医療関連分野の現状を理解して未来を展望できる人材養成のための科目、医科学の基本となる生命科学を修得するための科目等を配置し、専門科目には基礎医学系、社会医学系、臨床検査医学系、運動機能系といった専門分野毎に科目を配置し、個人のニーズに合わせて集中的・網羅的に学べるようにしている。

学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に則り、各科目シラバスに明記された到達目標・評価方法に基づき、厳格かつ公正な成績評価を行う。研究指導は、1年次に指導教員を決定し、「研究計画書・研究指導計画書」により指導教員の指導のもとにテーマと年次研究計画を作成する。専門分野の内容に応じた演習、講義などを通して指導教員の指導のもとに研究を遂行する。2年次の初期に「研究計画書・研究指導計画書」により指導教員の指導のもとに前年度の評価を行ったうえ、研究の年次計画を作成し、指導教員の指導のもとに研究を遂行し修士論文を作成する。修了時には学位論文審査を実施し、教授会の議を経て、学位（修士）を授与する。学位論文の評価は別に定める「秋田大学大学院医学系研究科医科学専攻の学位論文審査に関する取扱要項」に拠る。

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

医科学専攻（修士課程）では、次のような能力・知識を備え、医科学専攻（修士課程）を修了し、修士論文の審査に合格した者に、修士（医科学）の学位を授与する。

1. 医学・医療・生命科学の幅広い知識を身につけている。
2. 研究成果を世界に向けて発信できる国際的視野を備えている。
3. 医学・医療関連分野の領域横断的な諸問題の解決に有用な幅広い学問的背景をもち、実践的な技術・技能を習得している。